

つながりで おいしくなる



今市地区 輪や和や食堂

不安な日々が続く中、少しでも日常に明るさを取り戻してほしい。
生活の中に楽しみがあることで「今日がよい日だった」と思ってもらいたい。
そんな思いで活動をする子ども食堂“輪や和や食堂”。
12月で丸3年を迎える活動について、お話を伺いました。(2、3ページへ)





スタッフの古家さん（左）と深津さん

わ　　わ 輪や和や食堂

平成29年12月にスタート。

月に1回、今市コミュニティセンターにて開催。

料金は子ども100円、大人200円。

子どもからお年寄りまで幅広い世代が集まり、

“わやわや”しながら美味しい食事と会話を楽しんでいる。

誰もが気軽に集まれる場所を

朝食を食べない、一人で食事をする人が多いなど子どもに限らず、「孤食」の問題は深刻化しています。輪や和や食堂は、立ち上げメンバーの子ども「食」に対する強い思いから、平成29年12月にスタートしました。

「最初は、本当にニーズがあるのだろうか、食べに来てくれる人がいるだろうかという不安がありました。どんな形であれやってみよう！という思いで挑戦してみました」と話すのは、立ち上げメンバーである深津さんと古家さん。

活動の開始に向けて、小学校に話を聞きに行ったり、市外ですでに活動していた子ども食堂に見学に行ったりしながら、自分たちのイメージする「食堂」を完成させていきました。不安もある中でスタートした子ども食堂は、子どもから高齢者まで100人が訪れました。その後も月1回開催し、毎回80人ほどが訪れ、おいしい食事を楽しんでいます。「なるべく入口のハードルを低くして、多くの人に来てほしい」という思いから、予約制ではなく、年齢制限も設けなかったたちをとっており、誰でも気軽に訪れることができ、地域になくはない場所となっています。

不安が続く中での活動再開！

そんな中、新型コロナウイルスの感染拡大により、活動を中止しなくてはならない状況に。県内の感染者は少ないとはいえ、活動を再開することに抵抗を感じていたそうです。

高齢者は体操教室やサロンが中止になり、どんどん閉じこもりがちに。子ども達も学校行事やイベントなど楽しみがなくなり、この状況をみて、「食堂を再開することで発生するリスクよりも、中止し続けていることのほうがデメリットが多い。コロナ禍において食堂が楽しみの場になればという気持





ちで再開を決めました」と話す深津さん。「人数の制限を設けたり、感染予防のためのパーティションをボランテアで作ってもらったり、いろいろな方に支えられながら再開に向けて準備をしていきました」と話す古家さん。4か月ぶりに再開した輪や和や食堂は、いつもより参加者は少ないものの、久しぶりの開催に皆が楽しい時間を過ごす事ができたそうです。「高齢者の参加はやはり少なかったけれど、それぞれの考えで来てくれればいい。みんなの日常に少しでも明るさが戻ってくれば」という気持ちで現在も活動を続けています」と2人は話します。

「楽しい」という気持ちが原動力！

「活動の始まりのきっかけは、子どもの食の貧困でしたが、今は食堂という存在が結果的に孤食、世代間交流などいろいろなことに繋がっていいばかりと思っています」と2人は話します。実は今年、立ち上げメンバーのうちのお一人が亡くなったそうです。「彼女が子ども食堂に対して一番強い想いを持っていた。彼女が残してくれた想いのつまったレシピを参考に、スタッフと話し合ってメニューを考えています」と深津さんは話します。

予想していなかった様々な状況を乗り越え、活動を続けていくとする2人には、「とりあえずやってみる。どんな形でも続けていく」という強い想いがあります。

「世代交代していかなければと考えるけど、『絶対続けていこうね』という他のスタッフの力強い声を聴くたび、頑張らなくちゃと思って活動しています」と深津さん。

「忙しくて疲れることもあります。でもそれ以上に学ぶことが多く、何より楽しくて仕方がない！」と古家さん。2人をはじめとするスタッフの心から活動を楽しんでいる様子が、温かくてほっとできる食堂の雰囲気をつくりだしています。



やさしさや思いやりが困っている人に つながる
 やさしい心がまちいっぱい ひろがる
 多くの人が ささえあう
 誰もが安心して暮らせる出雲市になるために

企業

障がいのある人への
正しい理解を学ぶ
「あいサポーター研修」



イズテック株式会社様による職員研修
 ※あいサポーター研修終了時に
 あいサポートバッジをお渡しします。

地域・団体

日常生活での困りごとを知る
「疑似体験」



JAしまね やすらぎ会様による
高齢者への支援の方法を学ぶ研修

私たち障がい者も
一緒に活動しています。



ほうり ひであき
 祝部 英明 さん
 「高次脳機能障がい 出雲 縁ingトークの会」代表

「障がいを知る」「ちょっとした手伝い」という「あいサポート運動」の思いに共感し、活動を始めました。この活動を通して地域の方に理解を深めてもらい、声をかけてもらえる喜びを感じました。今後、この活動が自然に地域に、そして心の中に溶け込んでいく事が私の願いです。

出雲市社会福祉協議会では、障がいのある人と共に「福祉出前講座」に取り組んでいます。

研修会や町内会の
集まりなどに
職員がおじゃまします。

福祉出前講座の内容

- あいサポーター(障がいの理解全般)
- 視覚障がい者について
(アイマスク・点字体験)
- 車いす体験
- 高齢者疑似体験
- ふくしについての話
- 高齢者の見守り活動、サロン活動
- 地域支え合い研修会
(家事援助などの必要性)
- 福祉委員の活動について

お問い合わせ・申込み先

出雲市社会福祉協議会(本所または最寄りの支所)
 連絡先は8ページをご覧ください。



「知らない」を知ろう!!

～ひろがれ ふくしの輪～

学校の授業で「ふくし」の学習に取り組みたい、職場の研修で「障がいのある人」への理解を深める研修がしてみたい。
こんな時には、ぜひ、ご相談ください。

学校

ふだんの暮らしの場で違いを知る
「車いす体験」



出雲北陵高等学校
普通コース看護・医療系の
生徒のみなさんによる学習

出雲北陵高校生徒さんの感想

- ④ 研修を受けて、一番大切だと感じたことは、
障がいのあるなしに関係なく普通に接すること
あり、人はみんな同じであることです。
- ④ 障がいのあるなしに限らず、心を広くして常に
まわりの人を助けられるようにしていきたいと思
いました。

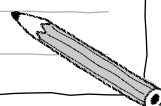


学校における 「ふくし」の学習

- ① 打ち合わせ
- ② 導入学習
(あいサポーター研修)
- ③ 体験学習
(アイマスク、車いす)
- ④ 調べ学習
(身近にある「ふくし」をさがそう)
- ⑤ 振り返り

※ 事前学習・振り返り
シートを準備いたし
ますので、ご活用く
ださい。

※ あくまでも一例ですの
で、内容については
ご相談ください。



心配ごと、悩みごと相談日の中止について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため
令和2年度の一般相談・法律相談は中止します。

仕事のこと、生活のことなどの困りごとについて
随時、職員が相談に応じます。

問合せ 生活支援課 TEL: **23-3790**

オンライン福祉相談 はじめました!

ご自宅からオンラインで
対面相談ができます。

詳しくは、
ホームページを
ご覧ください。



災害で被災された方への支援について

名 称	募 集 期 間
東日本大震災義援金 (これまでの送金額 49,176,236円)	令和3年3月31日まで
平成28年熊本地震災害義援金 (これまでの送金額 3,768,321円)	令和3年3月31日まで
平成29年7月5日からの大雨災害義援金 (これまでの送金額 756,482円)	令和3年3月31日まで
平成30年7月豪雨災害義援金 (これまでの送金額 2,077,462円)	令和3年6月30日まで
令和元年台風第19号災害義援金 (これまでの送金額 1,038,773円)	令和3年3月31日まで
令和2年7月豪雨災害義援金 (これまでの送金額 569,362円)	令和2年12月28日まで
令和2年7月島根県豪雨災害義援金 (これまでの送金額 313,049円)	受付終了

あたたかいご支援
ありがとうございます。



日本赤十字社キャラクター

ハートちゃん

問合せ先／日本赤十字社島根県支部出雲市地区（事務局 出雲市社会福祉協議会 本所・各支所）



歳末たすけあい 運動月間のお知らせ

歳末たすけあい運動は、赤い羽根共同募金運動
のひとつとして毎年12月に実施されています。

皆さまから寄せられた募金は、出雲市内の高齢
者や障がい者、子どもたちなど支援を必要とする
方があたたかいお正月を迎えられるようにと、家
屋の小修繕や年越しそばの配食などさまざまな
活動に使われています。

ご協力ありがとうございます。



新型コロナウイルスの影響によ
りお困りの方に対して食品・日
用品の提供を行いました。
市民・企業・団体の皆さまから
多数のご寄附をいただき、多く
の方にあたたかい気持ちを届け
る事ができました。ありがとう
ございました。
今後もこのような取組が市内各
地に広がるよう活動を続けてま
いります。
引き続きご支援よろしくお願い
します。



ご寄附 ありがとうございます

令和2年9月11日～令和2年11月10日受付分（敬称略）

* 出雲市社会福祉協議会ではご寄附いただいた方のご意志を尊重し、氏名等を掲載しています。なお、金額は掲載しませんのでご了承ください。

一般寄附

<平田>

北浜地区民

<団体>

東新町福祉の会

島根県年金受給者協会斐川支会女性部
（グラウンドゴルフ大会に係る

ホールインワン募金として）

島根県年金受給者協会斐川支会

代表 植田 邦夫

（第25回年金受給者グラウンドゴルフ大会

ホールインワン募金として）

見舞返し

<佐田>

大 呂 杉山 廣美

（香典・玉串料・お花料等返し）

（ ）内は故人

<出雲>

今市町 武田 弘幸（睦弘）

今市町 増田 一雄（陽子）

今市町 小山 好明（富範）

今市町 伊藤 堅志（禮嗣）

今市町 來間 啓宏（理智子）

今市町 富田 美代子（準）

今市町 加儀 敬子（壹朗）

今市町北本町 三宅 洋司（芳子）

大津町 鐘推 義憲（正江）

大津町 合田 真奈美（憲正）

天神町 岡田 澄子（誠吉）

天神町 高野 盛太（久夫）

高松町 加藤 和之（貢）

白枝町 横木 栄（虎義）

松寄下町 馬庭 美晴（美穂子）

松寄下町 小島 のり子（多久和 正）

浜 町 神田 俊郎（ヒロ子）

矢野町 水谷 典央（潮）

矢野町 岡 幸美（ヨリ子）

高岡町 田中 寛治（光子）

下古志町 日野 喜代和（満子）

神西新町 宇原 均（規）

東園町 郷原 駿太郎（君恵）

外園町 藤江 武志（雪子）

<平田>

平田町 松浦 秀夫（房子）

平田町 三村 曉範（遠藤 美津子）

平田町 原田 克彦（トモ子）

平田町 赤木 正英（シゲコ）

平田町 西尾 貢幸（和美）

西平田町 母里 邦枝（末吉）

灘分町 泊 浩康（勢梅香）

灘分町 矢田 まり子（重子）

灘分町 高橋 圭二（久子）

灘分町 日野 一善（福寿子）

美談町 山崎 貞男（加保留）

本庄町 松浦 正巳（喬）

奥宇賀町 佐々木 祐（和子）

河下町 高橋 亨（季子）

唐川町 荒木 辰朗（治夫）

唐川町 荒木 喜代子（三原 隆夫）

東郷町 西尾 隆（梶恵）

東福町 山根 洋治（純子）

東福町 福田 和男（利枝）

野石谷町 岡 耕治（正義）

野石谷町 山口 好美（晴二）

上岡田町 熱田 勇一（和枝）

多久町 坂本 史子（利秋）

園 町 大森 浩典（佳子）

園 町 三島 安裕（シズエ）

園 町 坂本 進（正男）

小境町 梶谷 由岐裕（久子）

小境町 曾田 トミ子（重仁）

十六島町 錦織 司（守）

釜浦町 岡 弘義（マサエ）

塩津町 松村 一正（正幸）

坂浦町 南場 学（勝江）

<佐田>

原 田 今川 和男（トミ子）

原 田 古屋 敦（政枝）

大 呂 杉山 貴徳（廣美）

一窪田 大矢 俊樹（弘幸）

一窪田 大矢 悟（玄隆）

佐津目 佐々木 雅彦（敬志）

<多伎>

小 田 石飛 正登（敏夫）

小 田 安井 正行（達枝）

小 田 石飛 淳一（瑞枝）

小 田 花田 実（キミ）

久 村 武田 一男（静江）

<湖陵>

三 部 今村 学（久人）

二 部 加田 芳之（寛一）

差 海 山崎 幹江（求）

<大社>

北荒木 高塚 清美（池田 洋司）

修理免 内谷 雅知（豊子）

杵築東 山崎 泰弘（美登利）

杵築東 高橋 洋子（勇）

杵築南 松原 静子（繁）

杵築南 片岡 秀之（順一）

杵築南 小村 直弘（光男）

杵築西 後藤 海紀（藤井 シゲコ）

杵築西 糸賀 三子（靖）

杵築西 飯塚 孝一（陽一郎）

杵築北 祝部 道行（治）

杵築北 野白 幸雄（知恵子）

杵築北 林 浩幸（善造）

日御碕 安食 恭子（常義）

宇 龍 古山 三樹（キヌ子）

宇 龍 山根 豊茂（清寛）

宇 龍 因幡 弘一（佑吉）

<斐川>

莊 原 錦織 立志（秀子）

莊 原 池淵 章敬（一）

三 絡 長谷川 幹夫（正義）

出 西 永戸 薫（豊）

出 西 多々納 浩治（春夫）

神 氷 陰山 真樹（正道）

上直江 佐藤 信男（鈴）

上直江 玉木 圭一（美年）

上直江 菖蒲 耕治（ワキ子）

直 江 荒木 弘（晴美）

原 鹿 江角 良夫（節子）

黒 目 錦織 一男（忍）

黒 目 古川 久美子（美代子）

黒 目 尾原 美知弥（正）

坂 田 植田 誠一（ひろ子）

坂 田 須田 正美（チエ子）

匿名寄附

17件

ご寄贈

今市町 今岡 進

今市町 杉原 彰彦

皆さまからのご寄附は、困りごとの相談や市内で福祉活動を行う団体、各地区社会福祉協議会への助成などに使わせていただいております。

- 出雲市社会福祉協議会に対する寄附は、住民税と所得税の控除対象になります。また、寄附者が法人の場合には、損金算入の制度が利用できます。

【例】 出雲市にお住まいの方が本会へ 50,000 円の寄附をされた場合

※税額控除を選択した場合

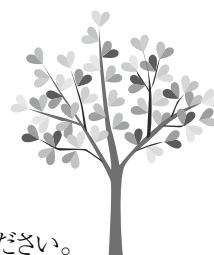
〔1〕 所得税 （50,000円 - 2,000円）× 40% = 19,200円

〔2〕 住民税 （50,000円 - 2,000円）× 10% = 4,800円

〔1〕 + 〔2〕 = 24,000円・・・税額控除額となります。

※一例であり、個々のケースにより控除額は変わります。詳しくは税務署等へお問い合わせください。

- 「地区の社会福祉協議会へ寄附をしたが、市の社協だよりに掲載されていない」とのお問い合わせにつきまして、本会と各地区の社会福祉協議会は地域福祉の推進におけるパートナーであり連携して事業を行っておりますが、別の団体であることから、各地区社会福祉協議会に対する寄附はこの紙面に掲載しておりません。ご了承ください。



子どもの遊び場に対する助成

子どもが安心して遊べる環境づくりのため、遊具（健康遊具を含む）などの新設や補修（撤去含む）にかかる費用の一部を地区社会福祉協議会へ助成します。
（皆さまからご協力いただいた会費、寄附金、赤い羽根共同募金を活用しています。）



神西地区 沖川児童遊園地



助成金額

遊び場の新設または補修

1地区上限 **20万円**（8割助成）

下記のいずれかに該当する場合は助成対象としません。

- ・ 行政機関、営利を目的とする団体、個人が設置あるいは管理する遊園地
- ・ 固定式でない遊具または設備
- ・ 同一の助成申請内容で複数年にわたるもの

申込方法

令和3年1月15日（金）までに、お住まいの地域の地区社会福祉協議会にご連絡ください。

学生 × 地域

島根県立平田高等学校

平田高校では2年生が学習の一環として、多文化交流イベントを企画しました。

市内在住の外国の方を招き、地域の方の協力を得ながらフットサルと餅つきで交流会を開催したところ、子どもから大人まで幅広い世代が参加し、中には家族全員での参加もありました。

「スポーツと食べ物は言葉が通じなくてもコミュニケーションが図れると思い、企画しました」「優しい日本語やジェスチャーで工夫して会話をしました。自分の視野が広がりました」と話す高校生の皆さん。

相手のことを考え、お互いに歩みよることのできた交流は、国境を越え新たなつながりへの一歩となりました。



年末年始の休業のお知らせ

12月29日（火）から1月3日（日）まで休業します。



出雲市社会福祉協議会連絡先

〈窓口対応〉平日8:30～17:15

本 所 / 〒693-0001 出雲市今市町543 ☎ fukushi@izumoshakyo.jp ホームページ <https://www.izumoshakyo.jp/>

本 所 / ☎23-3781 FAX20-7733 平田支所 / ☎63-4624 FAX63-5011 佐田支所 / ☎84-0131 FAX84-9034

多伎支所 / ☎86-2331 FAX86-2351 湖陵支所 / ☎43-2310 FAX43-2226 大社支所 / ☎53-3196 FAX53-6053

斐川支所 / ☎73-9330 FAX72-4068

いずも権利擁護センター ☎25-0955 FAX20-7733 **生活支援・相談センター** ☎23-3790 FAX20-7733

高齢者あんしん支援センター

出 雲 / ☎25-0707 FAX25-0901 平 田 / ☎63-8200 FAX63-5011 佐 田 / ☎84-0019 FAX84-9034

多 伎 / ☎86-7122 FAX86-2351 湖 陵 / ☎43-7611 FAX43-2226 大 社 / ☎53-3232 FAX53-6053

斐 川 / ☎73-9125 FAX72-4068

